

# 自給飼料の生産拡大による 畜産経営体質の強化

## 背景

飼料価格高騰により、畜産経営は非常に厳しい状況にある。このような状況の中では、自給飼料生産を拡大して購入飼料への依存度を小さくし経営体質の強化を図っていく必要がある。

## 活動内容

- ①飼料用トウモロコシ栽培支援
- ②生育期間中の獣害対策支援
- ③細断型ロールベアラによる収穫調製技術支援（現地研修会）
- ④作業性・経済性に関する調査



生育良好なトウモロコシ（9月1日）



細断型ロールベアラによる収穫

## 成果

- ①国営開発地の土地が痩せていることから低収量が予測されたが堆肥を十分に施用して土作りを行ったところ5200kg/10aと高収量が確保でき、循環型農業の実践にもつながった。
- ②細断型ロールベアラによる収穫調製は従来方法に比べ作業が省力的であり、低コストで高品質なサイレージが調製できた。
- ③ワイヤーメッシュと電気牧柵による獣害対策を実施することにより獣害の発生がなかった。

## 残された課題

- ①細断型ロールベアラの稼働率の向上
- ②サイレージの通年給与体系の確立



獣害対策の防護柵